



# 2005年度 第3四半期決算説明

---

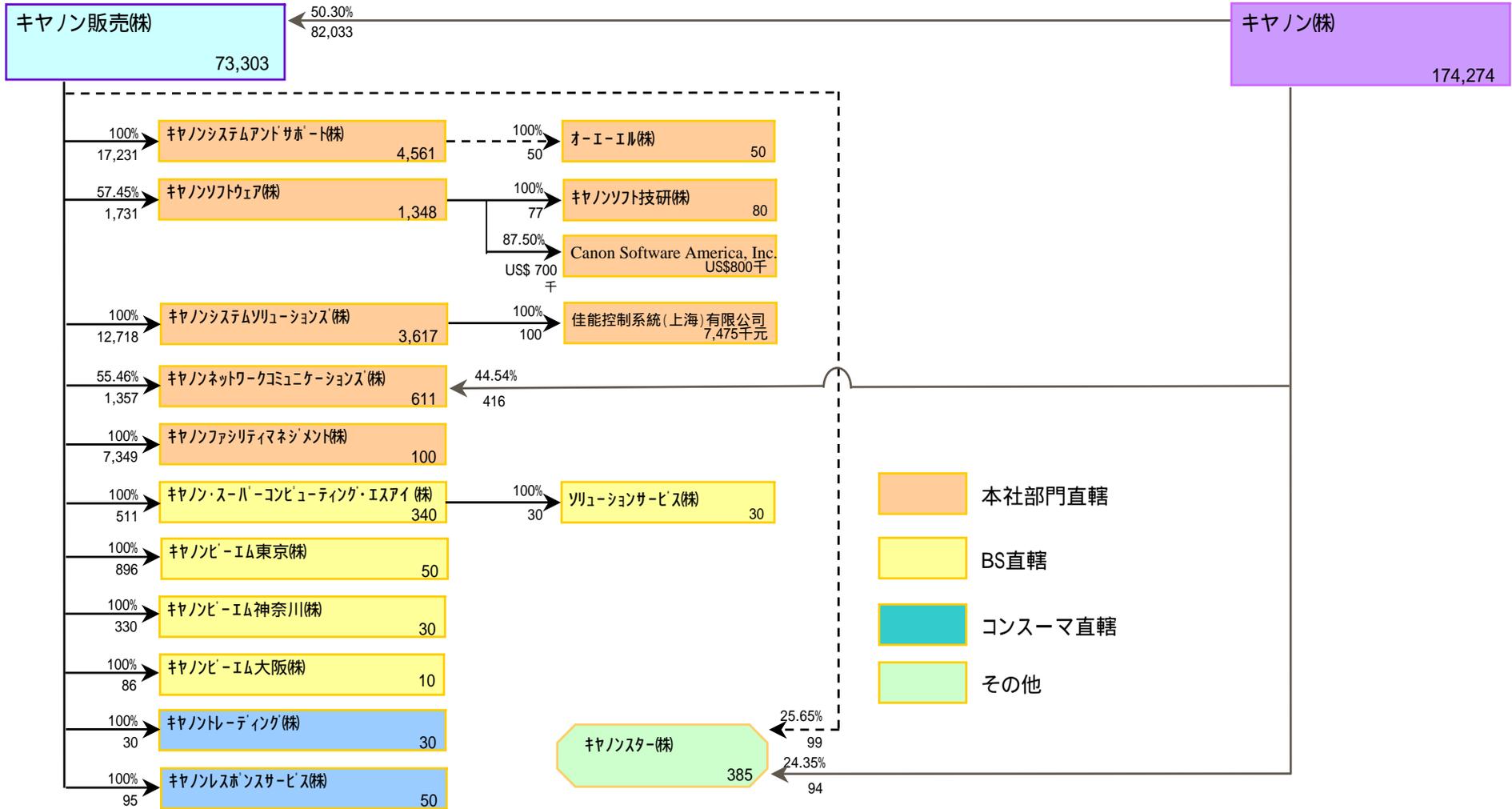
2005年 10月25日

キヤノン販売株式会社

常務取締役 川崎 正己

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

# 関係会社出資関係図



\*1 連結子会社であったキヤノンヒューマンネット(株)とキヤノンファシリティマネジメント(株)は、7月1日付けで合併致しました。

子会社 16社 (うち連結子会社 15社)  
 関連会社 1社 (うち持分法適用会社 0社)  
 持株比率  
 → 連結  
 - - - 非連結  
 投資簿価(百万円)

会社名  
 資本金(百万円)



2005.09.30現在

# 1 . 連結の範囲及び持分法適用会社

	2005年 6月末	新規	除外	2005年 9月末
連結子会社数	16	-	1 1	15
持分法適用会社数	0	-	-	0
合計	16	0	1	15

除外会社 1 連結子会社であったキヤノンヒューマンネット（株）とキヤノンファシリティ  
マネジメント（株）が合併致しました。（2005年7月）

## 2-1 . 比較連結損益計算書（1月～9月）

単位：億円

	2004年 1月～9月	2005年 1月～9月	増減	
			金額	率
売上高	5,858	5,900	42	101%
(%)	(33.2%)	(33.3%)	(0.1%)	
売上総利益	1,946	1,967	21	101%
販売費	1,754	1,767	13	
(%)	(3.3%)	(3.4%)	(0.1%)	
営業利益	192	200	8	104%
営業外収益	17	17	0	
営業外費用	45	16	29	
(%)	(2.8%)	(3.4%)	(0.6%)	
経常利益	164	201	37	122%
特別利益	1	0	1	
特別損失	15	19	4	
税引前利益	150	182	32	121%
法人税等	61	83	22	
当期純利益	89	99	10	111%

### 営業利益増減分析

売上の増加	14
粗利率の増加	7
経費他	13
合計	8

## 2-2 . 比較連結損益計算書（7月～9月）

単位：億円

	2004.3Q	2005.3Q	増減	
			金額	率
売上高	1,896	1,904	8	100%
(%)	(33.2%)	(34.3%)	(1.1%)	
売上総利益	630	652	22	103%
販売費	576	586	10	
(%)	(2.9%)	(3.5%)	(0.6%)	
営業利益	54	66	12	122%
営業外収益	4	3	1	
営業外費用	8	4	4	
(%)	(2.6%)	(3.4%)	(0.8%)	
経常利益	50	65	15	132%
特別利益	0	0	0	
特別損失	3	1	2	
税引前利益	47	64	17	137%
法人税等	21	30	9	
3Q純利益	26	34	8	131%

### 営業利益増減分析

売上の増加	3
粗利率の増加	19
経費他	10
合計	12

### 3 . セグメント別売上

単位：億円

	2004.3Q		2005.3Q		増減	
	売上	構成比	売上	構成比	金額	増減率
ビジネス機器	(573)	(30%)	(542)	(28%)	( 31)	(95%)
サービス・サポート	(579)	(31%)	(588)	(31%)	(9)	(101%)
ビジネスソリューション	1,152	61%	1,130	59%	22	98%
コンシューマ機器	505	26%	565	30%	60	112%
産業機器	239	13%	209	11%	30	88%
合計	1,896	100%	1,904	100%	8	100%

## 4 . 販売費の内訳

単位：億円

	2004.3Q	2005.3Q	増減
広告宣伝費	39	42	3
保証費	41	40	1
販売促進費	45	55	10
その他直接費	20	19	1
人件費	314	317	3
支払賃借料	24	22	2
減価償却費	11	11	0
計算費用	18	12	6
事業税（外形標準課税）	-	2	2
その他販売費	64	66	2
合計	576	586	10

\*05年上期より一部費目振替があるため、それに合わせて04年3Q実績を修正しております。

## 5 . 営業外損益の内訳

### [営業外収益]

単位：億円

	2004.3Q	2005.3Q	増減
連結調整勘定償却益	2	2	0
雑収益・その他	2	1	1
合計	4	3	1

### [営業外費用]

支払利息	2	0	2
棚卸資産廃却・評価下げ	6	3	3
雑損失	0	1	1
合計	8	4	4

## 6 . 特別損失の内訳

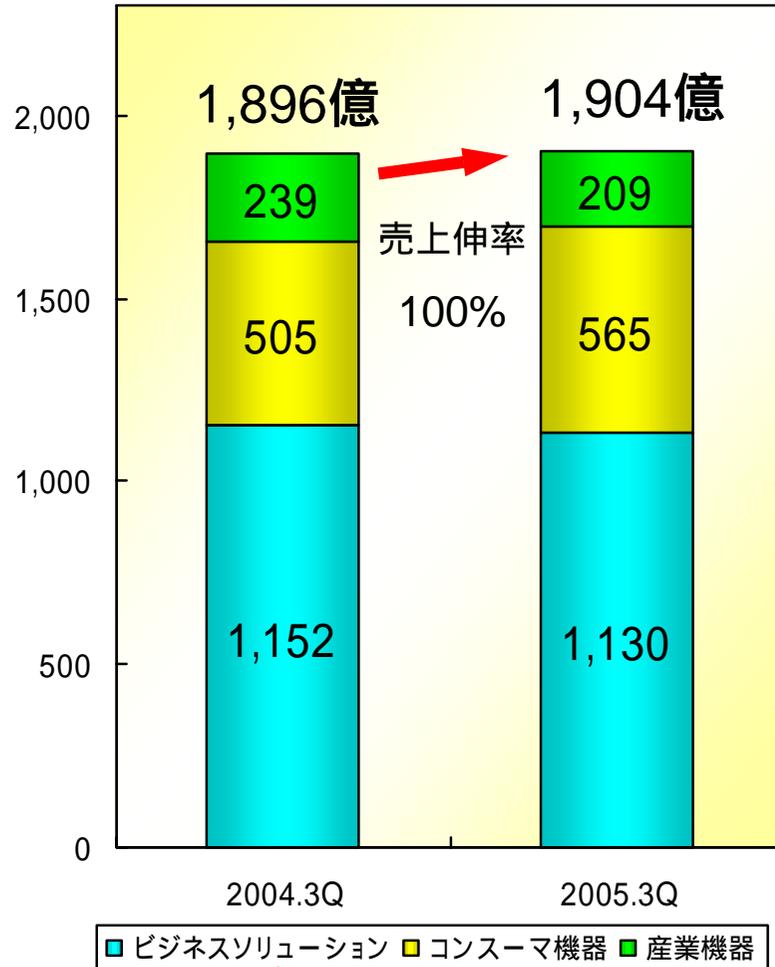
[特別損失]

単位:億円

	2004.3Q	2005.3Q	増減
固定資産売却却損	2	1	1
その他	1	1	0
合計	3	2	1

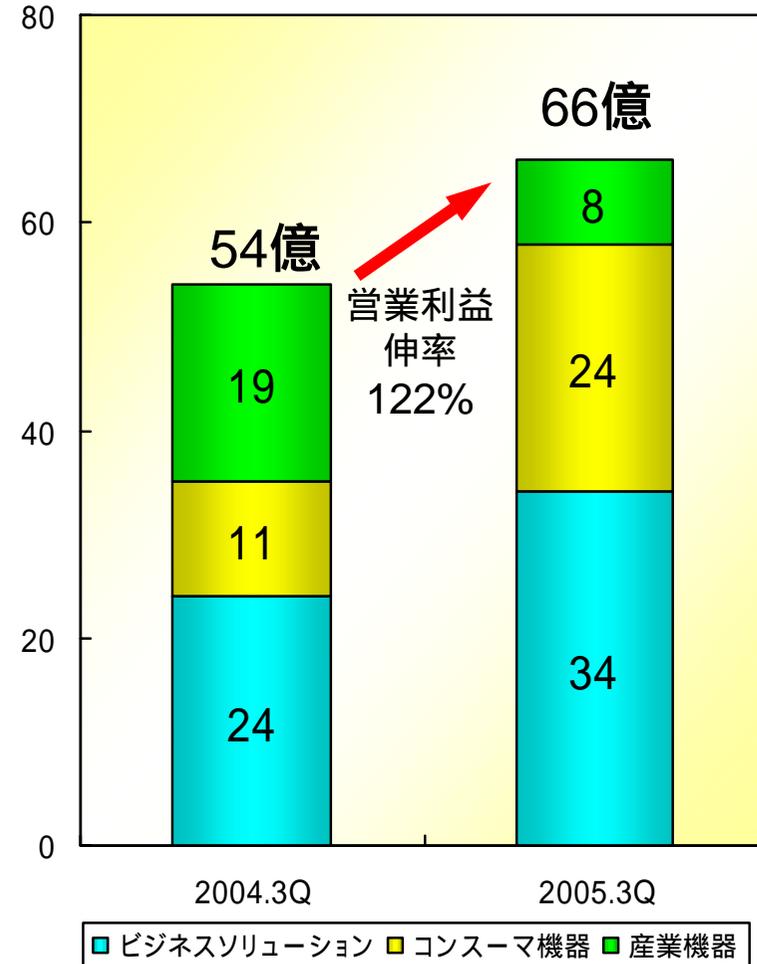
# 7-1. セグメント別売上・営業利益

## 【売上】

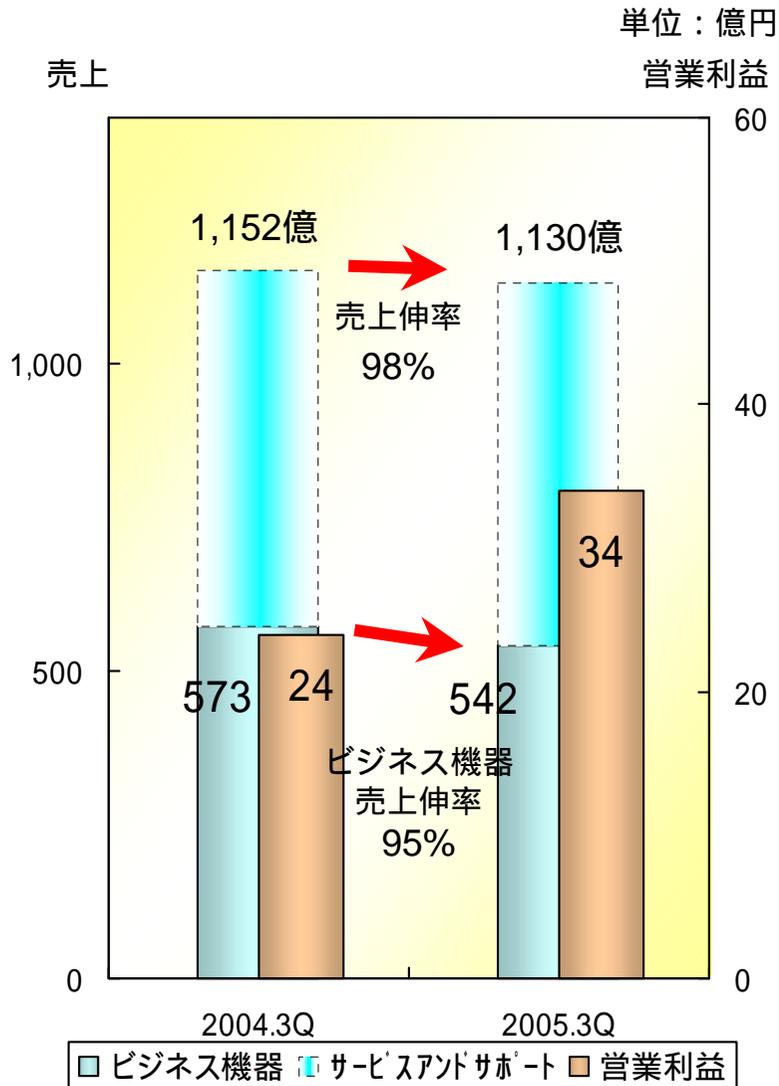


## 【営業利益】

単位：億円



## 7-2. セグメント情報 (ビジネスソリューション1)



Canon

### <ビジネス機器>

#### [オフィスMFP]

カラー機で普及機の「iR C2620/2570」が台数の伸びの牽引力となって好調に推移。モノクロ機もカラーシフトの影響を受けるなかで比較的堅調に推移。その結果、全体として順調な伸びを達成。

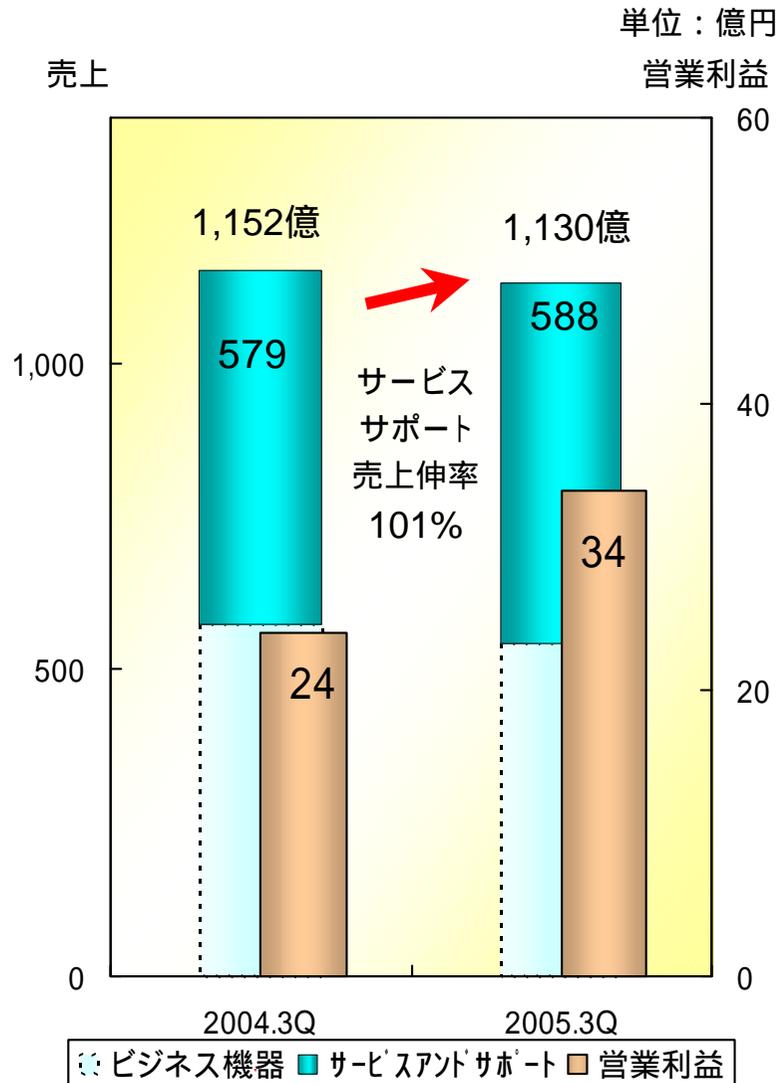
#### [LBP]

カラー機の「Satera LBP5900/LBP5600」が6月の発売以来、オプションのプリンタ機能拡張システム「MEAP-Lite(ミープ・ライト)」を搭載した大型商談も含め好調に推移。その結果、モノクロ機は減少したものの、全体では微増で推移。

トナーカートリッジは、カラーカートリッジの伸びにより順調に売上を拡大。

トナーカートリッジ 前年同期比：109% (単体、金額)

## 7-3. セグメント情報 (ビジネスソリューション2)



Canon

### <サービス・サポート>

#### [保守サービス]

オフィスMFPの保守サービスは、カラーシフトの進展により順調な伸びを達成。その他のハードウェア保守も順調に売上を拡大。

キヤノンシステムアンドサポート(株)が機器の販売と保守サービスで売上を伸長。

保守サービス前年同期比：105%

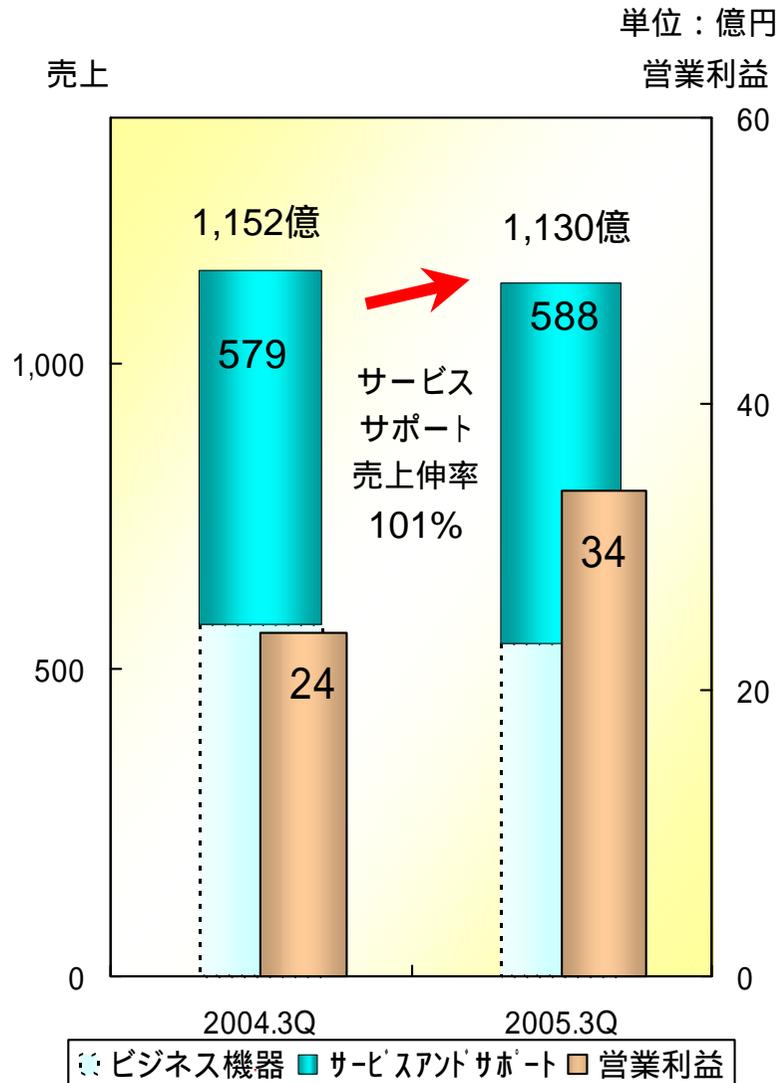
#### [ITサービス]

ドキュメント系は個人情報保護法、e文書法が追い風となり、ドキュメント系ソフトウェア「imageWARE」シリーズが伸長。「MEAP」アプリケーションも情報セキュリティやドキュメント関連を牽引役に好調に売上を拡大。

基幹系はオープン系帳票作成ツールや電子帳票システム等のレポーティング関連やインターネット関連が増加。

基盤系はプライバシーマーク認証取得支援等の情報セキュリティ関連を中心に順調に推移。

## 7-4. セグメント情報 (ビジネスソリューション2)



キヤノンソフトウェア(株)はビジネス系アプリケーションの開発・販売やキヤノン製品関連のソフトウェア開発に注力。契約形態について工数型契約から一括請負型契約への移行を推進したため、全体の売上は一時的にやや減少したが、年間では前年を上回る見通し。

キヤノンシステムソリューションズ(株)は、SI&サービス事業が順調に売上を拡大。サーバソリューション事業で付加価値の高いビジネスに集中したことにより売上は減少したが、全体で対前年微増の売上を確保。

キヤノンネットワークコミュニケーションズ(株)はネットワーク事業、インターネットデータセンター事業が順調に推移し、売上を拡大。

キヤノンシステムアンドサポート(株)はセキュリティ関連を核として中小企業向けの小型ソリューションビジネスが堅調に推移。

ITサービス前年同期比：96%

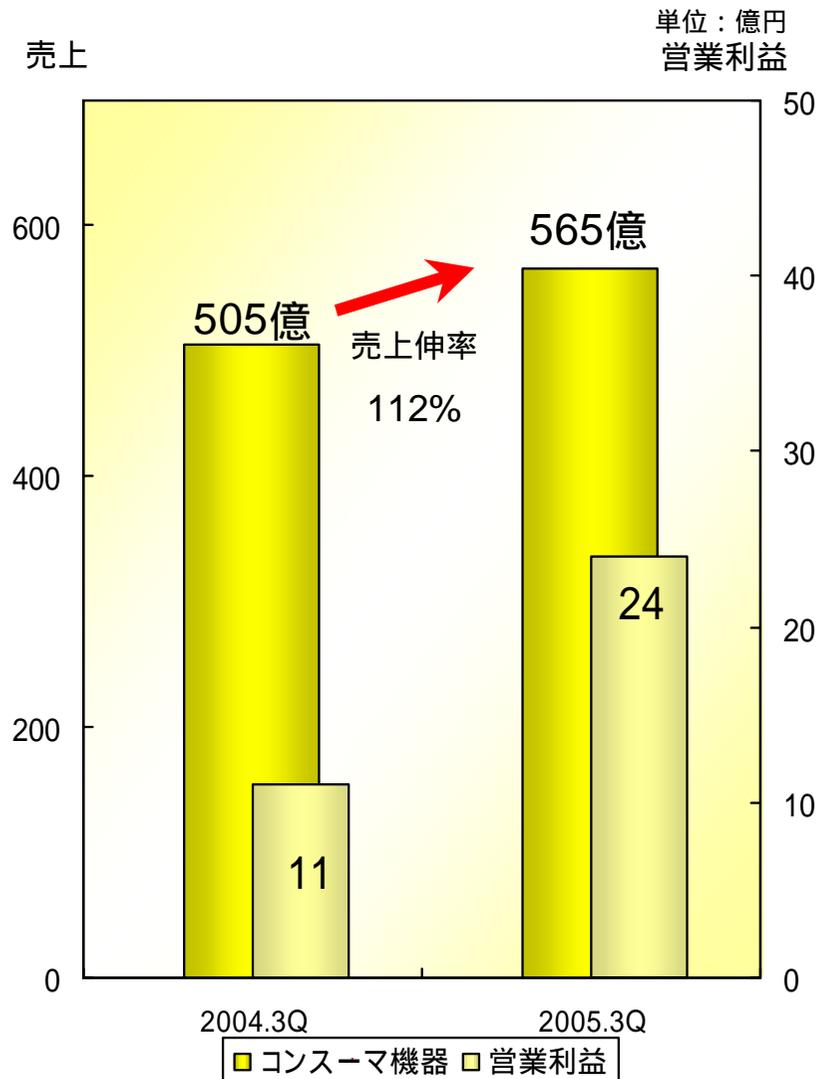
## 7-5 . 主要関係会社実績

単位：億円

	2004.3Q		2005.3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
キヤノンシステムアンドサポート（株）	245	3	248	3	3	0
キヤノンソフトウェア（株）	37	1	35	1	2	0
キヤノンシステムソリューションズ（株）	80	2	80	2	0	0
キヤノンネットワークコミュニケーションズ（株）	12	1	19	1	7	2

金額は連結消去前のものです。

## 7-6. セグメント情報（コンシューマ機器）



Canon

### [デジタルカメラ]

コンパクトでは9月に710万画素「IXY DIGITAL 700」、中核機の500万画素「IXY DIGITAL 60」を発売。業界が対前年マイナスのなか、前年を上回る実績を確保。

一眼レフは「EOS Kiss Digital N」が好調。9月末発売のプロ向け「EOS-1D Mark N」とハイアマ向け「EOS 5D」でリードをさらに拡大。

### [デジタルビデオカメラ]

8月以降に429万画素の「IXY DV M5」、初のDVD機「DC10/20」等4機種を発売し、9月の月間シェアで過去最高を記録。

### [インクジェットプリンタ]

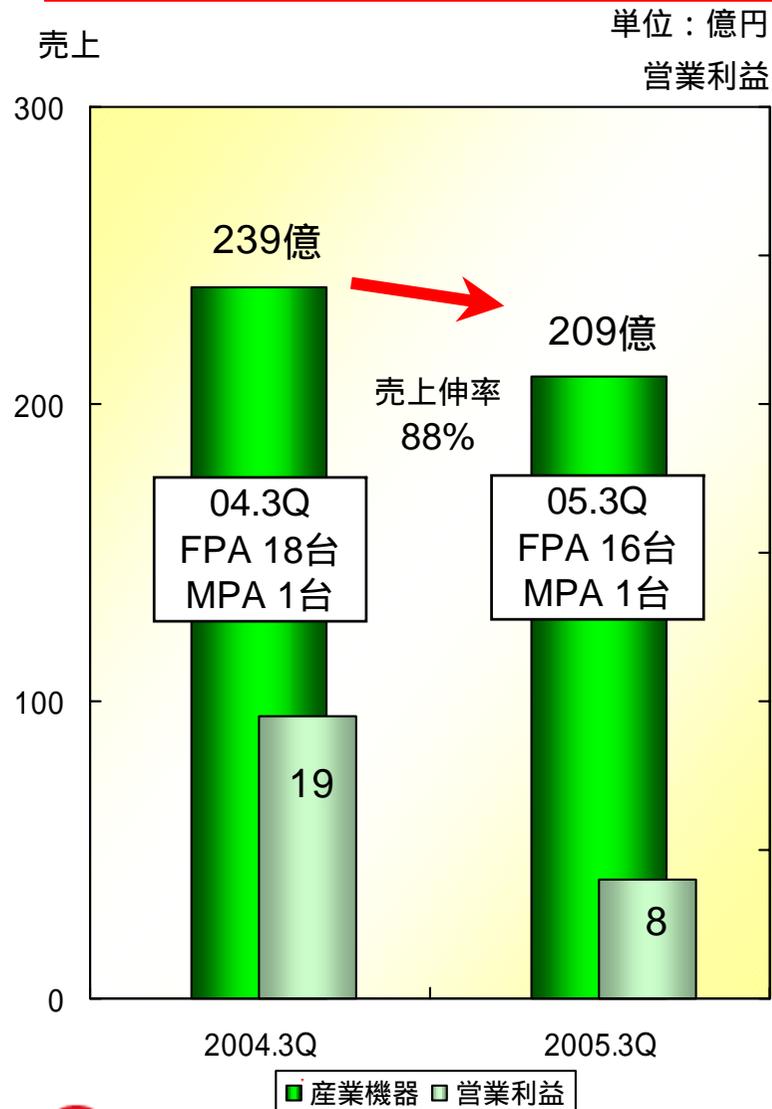
年末商戦に向けてMFPを主力に7機種の新製品を9月末に発表。「ホームフォトプリント」の需要増により、消耗品も好調に推移。

インクカートリッジ 前年同期比：116% (単体、金額)

### [コンパクトフォトプリンタ]

9月に「SELPHY」シリーズで3機種の新製品を発売。単月出荷台数で9月に新記録を達成。

## 7-7. セグメント情報（産業機器）



### [半導体機器]

国内の半導体設備投資は先行き不透明な状況が続くものの、一部のメーカーは積極的な投資を推進。KrFステッパー「FPA-6000ES6a」やi線ステッパー「FPA-5500iZa」等の拡販に注力。売上は対前年では減少したが、計画を上回る実績を確保。

### [光機]

放送用テレビレンズは、地上波デジタル放送の開始やHD(高品位)化が追い風となってHDTV対応レンズを中心に順調に推移。

医療機器は、X線デジタルカメラ「CXDI-50G」や眼内レンズが順調に推移したものの、眼科機器が伸び悩み、全体の売上は減少。

# 8. 主要新製品発売状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
カラー-MFP		★ Satera MF8170			★ iR C3170・2570						★ iRC6870・5870
モノクロMFP		★ iR2230F	★ iR6570・iR5570					★ iR3310F-R		★ iR6010-R	
カラー-LBP					★ Satera LBP5900・5600					★ Satera LBP5000	
デジタルカメラ		★ IXY DIGITAL 55・600				★ PowerShot S2 IS			★ IXY DIGITAL 60・700	★ IXY DIGITAL L3	
			★ EOS Kiss Digital N						★ EOS -5D・1D Mark II N		
ビデオ	★ FV500 KIT		★ FV M30 KIT					★ IXY DV M5・S1	★ DC20・10		
IJP・コンパクトフォトプリンタ		★ PIXUS iP90・iP9910					★ SELPHY CP600		★ SELPHY CP710他 3機種		★ PIXUS MP950他 7機種
産業機器					★ FPA5500iZa	★ FPA6000ES6a		★ CXDI-40EG			

## 9. 比較連結貸借対照表

単位：億円

	2005.6	2005.9	増減		2005.6	2005.9	増減
<b>流動資産</b>	3,075	3,275	200	<b>流動負債</b>	1,621	1,836	215
現預金・有価証券	1,174	1,181	7	買掛債務	1,146	1,335	189
売掛債権	1,375	1,382	7	未払費用	239	203	36
棚卸資産	407	549	142	未払税金等	63	49	14
繰延税金資産	52	52	0	引当金	56	153	97
その他流動資産	67	111	44	その他流動負債	117	96	21
<b>固定資産</b>	1,503	1,520	17	<b>固定負債</b>	526	514	12
有形固定資産	1,039	1,037	2	繰延税金負債	2	2	0
無形固定資産	52	49	3	退職給付引当	478	466	12
投資その他の資産	412	434	22	連結調整勘定	18	16	2
（投資有価証券）	(72)	(101)	(29)	その他固定負債	28	30	2
（繰延税金資産）	(228)	(225)	( 3)	<b>負債合計</b>	2,147	2,350	203
（差入保証金）	(91)	(88)	( 3)	少数株主持分	40	35	5
（その他）	(21)	(20)	( 1)	資本金	733	733	0
				資本剰余金	825	825	0
				利益剰余金	834	848	14
				その他	1	4	5
				<b>資本合計</b>	2,391	2,410	19
<b>資産合計</b>	4,578	4,795	217	<b>負債・少持・資本合計</b>	4,578	4,795	217

商品 ・ 修理部品 ・ 仕掛品 ・ 貯蔵品

株主資本比率 52.2% 50.3%

**Canon**

## 10 . 流動資産の状況

### 売掛債権・棚卸資産

単位：億円

	2005年6月末		2005年9月末		増減	
	金額	日数	金額	日数	金額	日数
売掛債権	1,375	62.8	1,382	65.1	7	2.3
棚卸資産	407	18.6	549	25.9	142	7.3
合計	1,782	81.4	1,931	91.0	149	9.6

日数は、過去6ヶ月の平均売上高より算出しております。

# 11 . 比較連結キャッシュ・フロー

	[2004.3Q]	[2005.3Q]	単位:億円 増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	47	64	17
減価償却費	22	26	4
売上債権の増減	8	7	1
棚卸資産の増減	27	142	115
仕入債務の増減	37	189	226
法人税等の支払額	24	37	13
その他増減	72	32	40
合計	45	125	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	51	98	47
フリー・キャッシュ・フロー	6	27	33
財務活動によるキャッシュ・フロー	12	20	8
現金及び預金の期首残高	1,124	1,174	50
現金及び現金同等物の期末残高	1,106	1,181	75

**Canon**

# 2005年業績予想

---

## 12-1 . 業績予想 (年間)

単位:億円

	2004年 ( A )			2005年 ( B )			増減(B-A)		
	上期	下期	実績	上期 実績	下期 計画	年間 計画	上期	下期	年間
売上高	3,962	4,193	8,155	3,996	4,224	8,220	34	31	65
(率)	(3.5%)	(3.7%)	(3.6%)	(3.3%)	(3.8%)	(3.6%)	( 0.2%)	(0.1%)	(0.0%)
営業利益	138	155	293	134	159	293	4	4	0
(率)	(2.9%)	(3.1%)	(3.0%)	(3.4%)	(3.6%)	(3.5%)	(0.5%)	(0.5%)	(0.5%)
経常利益	114	130	244	135	153	288	21	23	44
(率)	(1.6%)	(1.4%)	(1.5%)	(1.6%)	(2.0%)	(1.8%)	(0.0%)	(0.6%)	(0.3%)
当期純利益	63	61	124	65	83	148	2	22	24

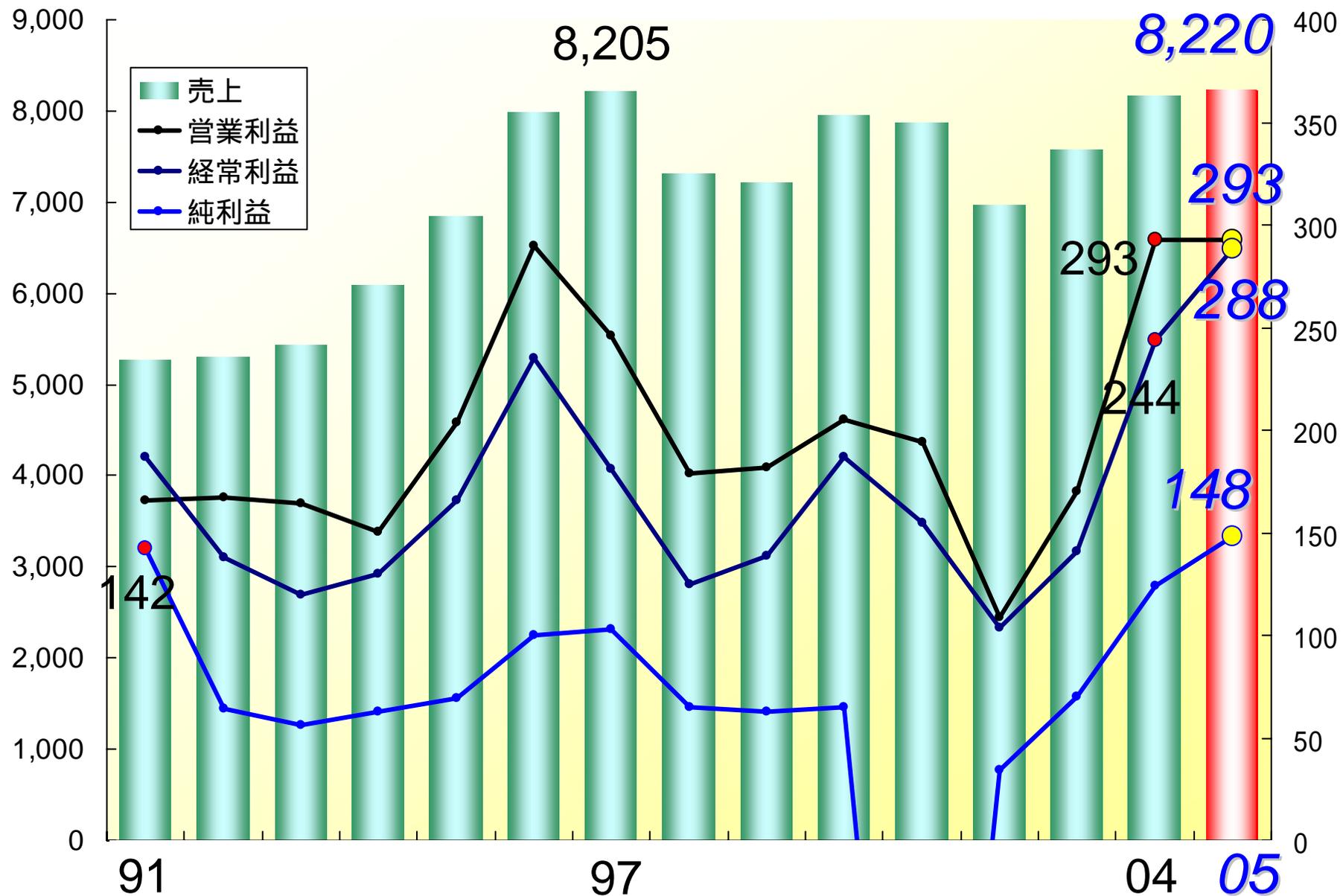
## 12-2 . 業績予想（年間）公表値比較

単位:億円

	05.7.26発表 ( A )			05.10.24発表 ( B )			増減(B-A)		
	上期実績	下期計画	年間計画	上期実績	下期計画	年間計画	上期	下期	年間
売上高	3,996	4,254	8,250	3,996	4,224	8,220	0	30	30
(率)	(3.3%)	(3.5%)	(3.4%)	(3.3%)	(3.8%)	(3.6%)	(0.0%)	(0.3%)	(0.2%)
営業利益	134	148	282	134	159	293	0	11	11
(率)	(3.4%)	(3.4%)	(3.4%)	(3.4%)	(3.6%)	(3.5%)	(0.0%)	(0.2%)	(0.1%)
経常利益	135	143	278	135	153	288	0	10	10
(率)	(1.6%)	(1.8%)	(1.7%)	(1.6%)	(2.0%)	(1.8%)	(0.0%)	(0.2%)	(0.1%)
当期純利益	65	78	143	65	83	148	0	5	5

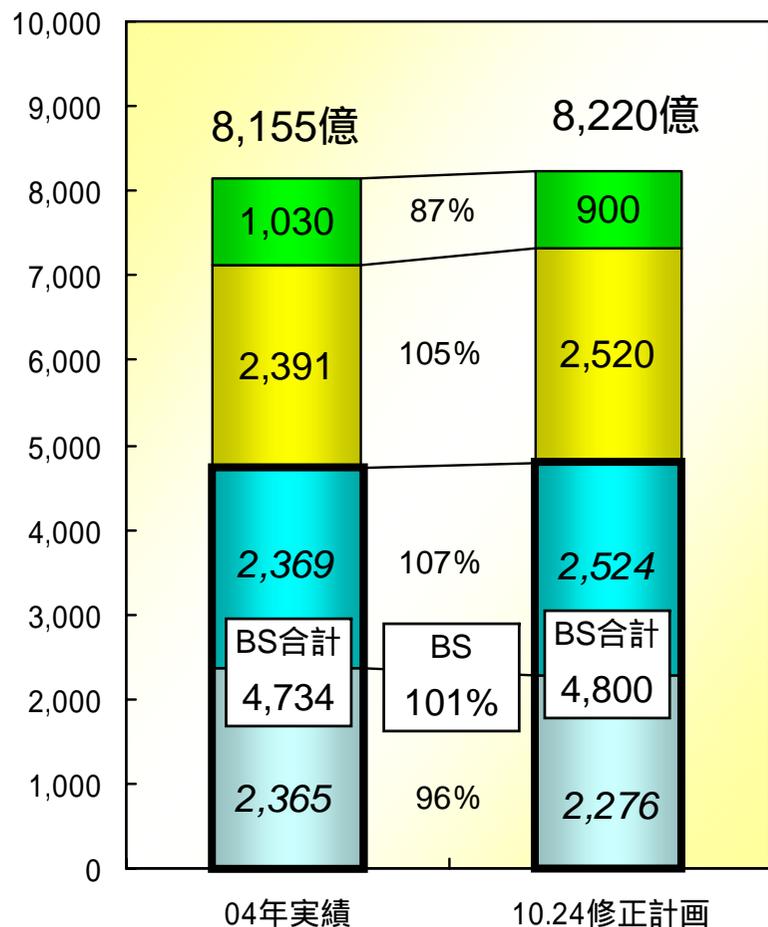
# 12-3. キヤノン販売グループ 連結財務実績推移

単位：億円



# 12-4. 年間セグメント別売上・営業利益

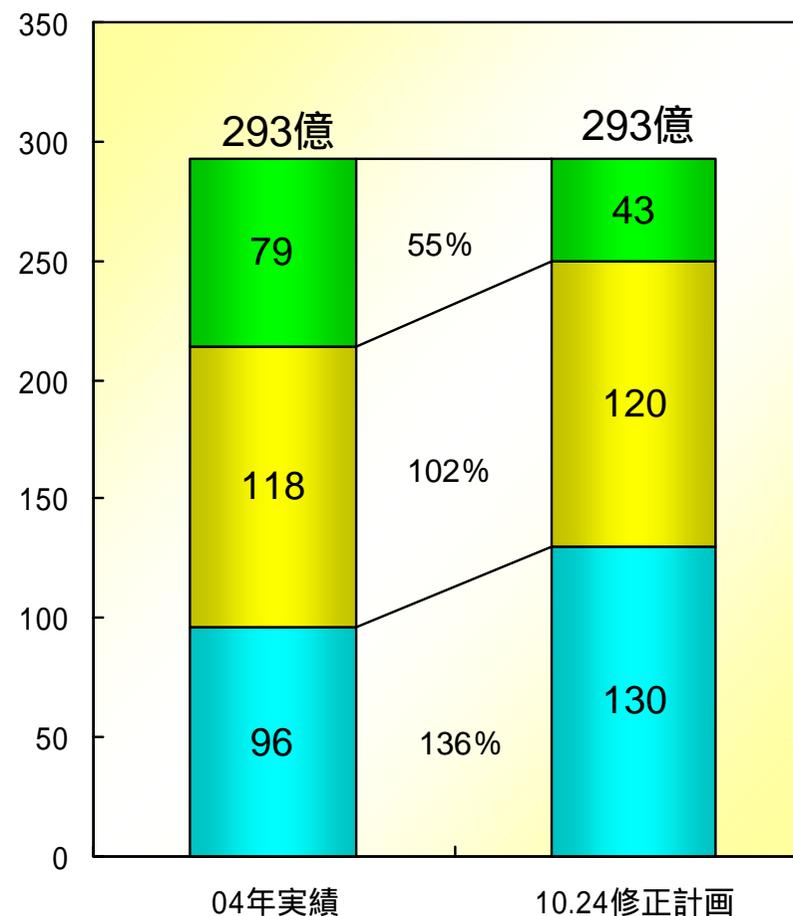
【売上】



□ ビジネス機器 ■ サービスサポート ■ コンシューマ機器 ■ 産業機器

【営業利益】

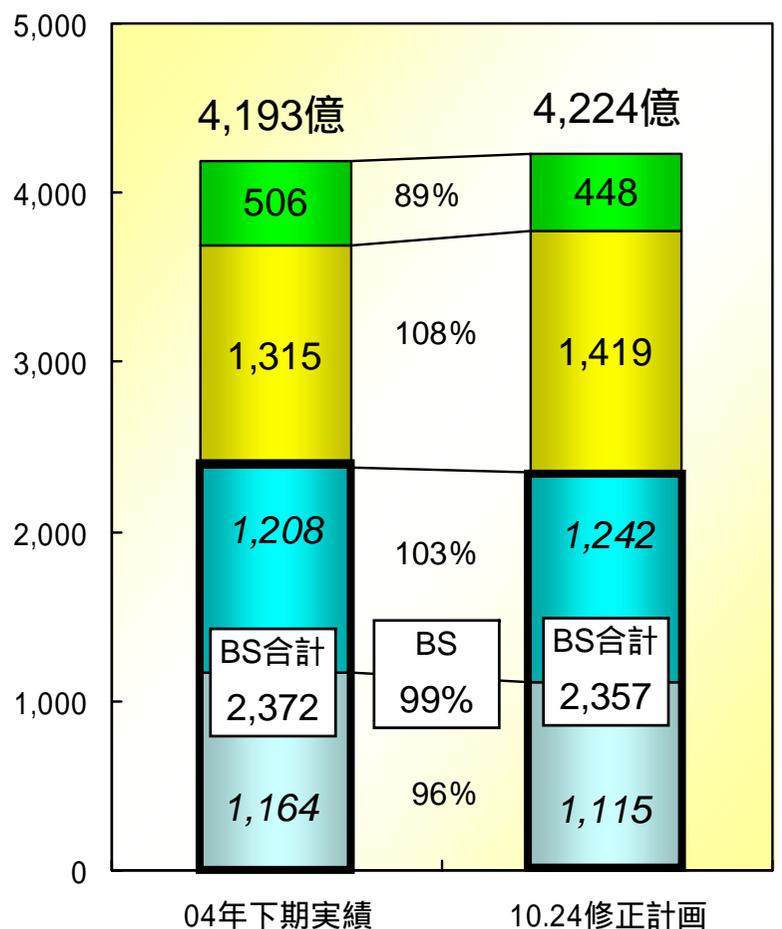
単位：億円



■ ビジネスソリューション ■ コンシューマ機器 ■ 産業機器

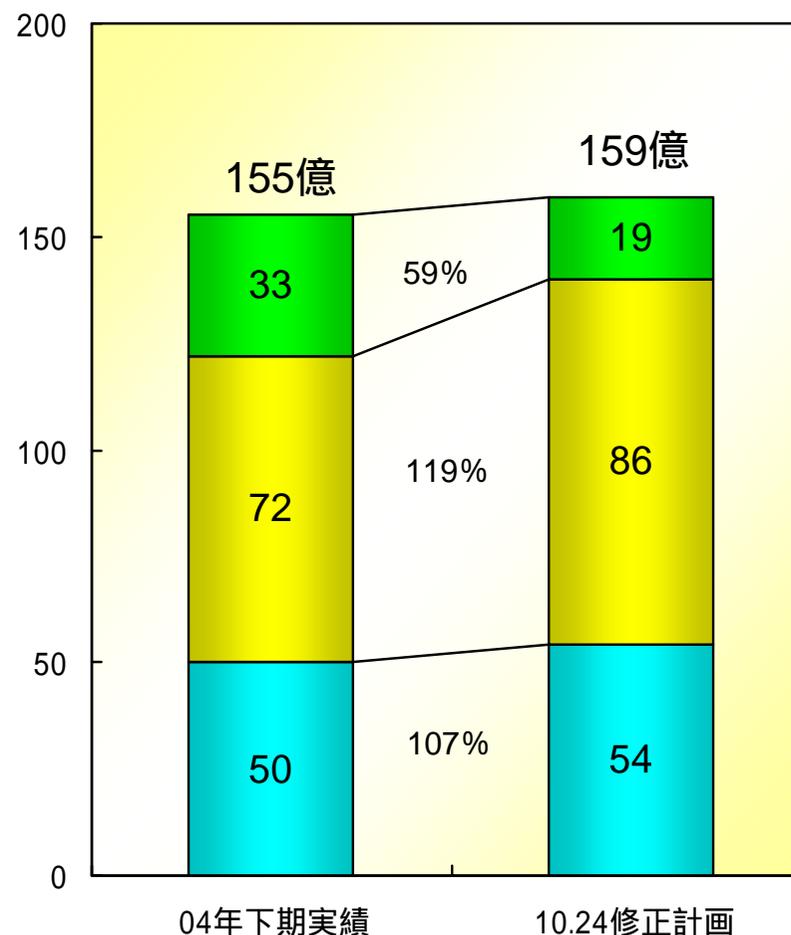
## 12-5. 下期セグメント別売上・営業利益

### 【売上】



### 【営業利益】

単位：億円



□ ビジネス機器 □ サービスサポート □ コンシューマ機器 □ 産業機器

□ ビジネスソリューション □ コンシューマ機器 □ 産業機器

## 12-6.業績予想（セグメント概況）

---

### [ビジネスソリューション]

オフィスMFP、LBPは、カラー機で引き続き好調を維持。それにともない、保守サービスやトナーカートリッジは堅実に伸長。

ITサービスは、国内経済の緩やかな成長にともなう情報化投資の拡大等を背景に、順調に推移。

オフィスMFPのモノクロ普及機は競争激化により厳しい販売状況で推移。

収益性の低い単体販売を縮小させているビジネスコンピュータ機器については、さらに減少させていく。

ビジネス機器全般で販売競争がより激化し、販売促進費も増加。

### [コンシューマ機器]

インクジェットプリンタは最大商戦期の第4四半期に、さらに画質を進化させた新製品7機種を投入し昨年を上回る売上を目指す。「ホームフォトプリント」の需要は増加し年賀状需要も加わって、消耗品も好調に推移。コンパクトフォトプリンタも市場の拡大が続く。

デジタル一眼レフカメラは旺盛な需要に支えられ、エントリー・ハイアマチュア・プロ用のすべての市場で好調を維持。

コンパクトデジタルカメラはトップシェアを維持。今後も多数メーカーによる厳しい競争が続く。

### [産業機器]

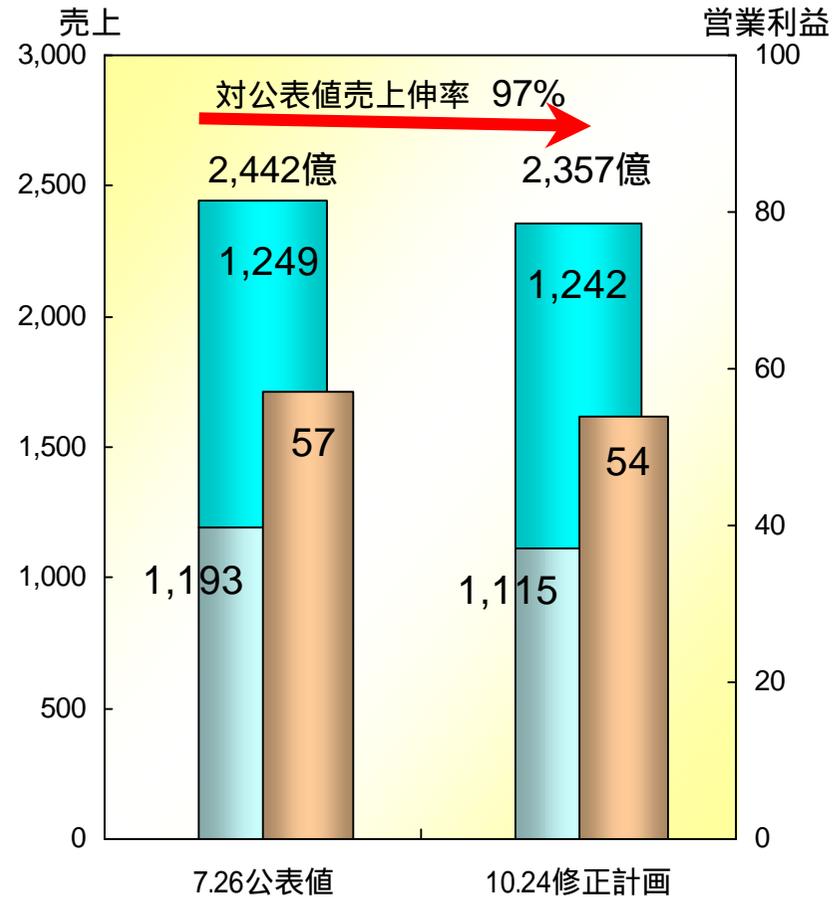
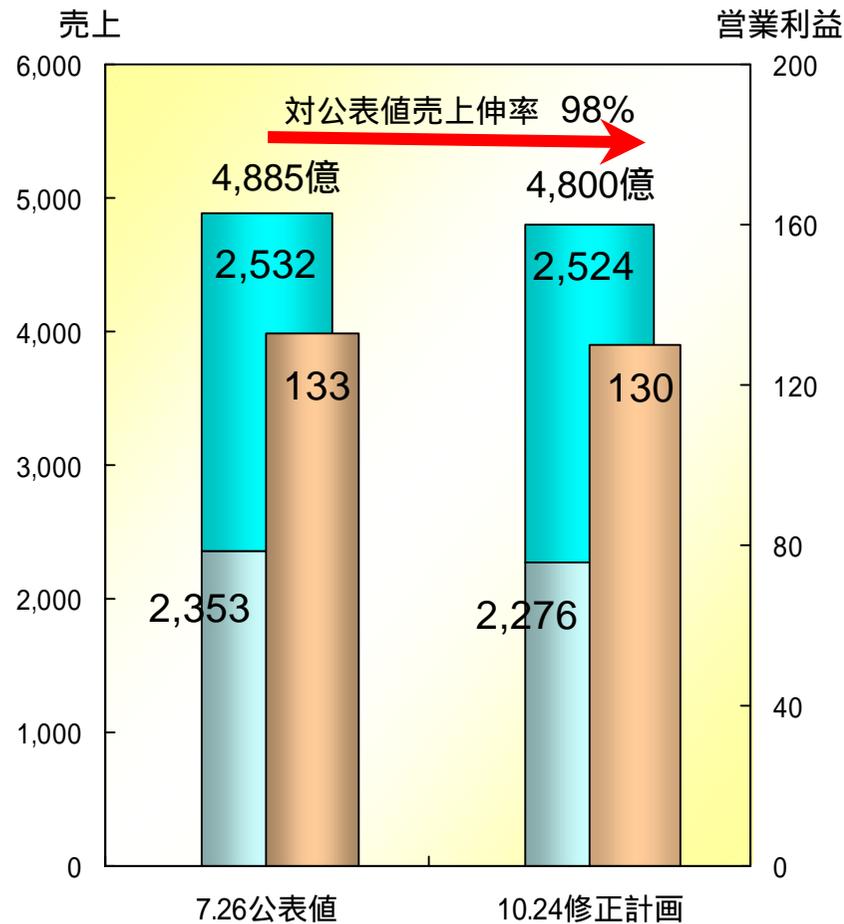
国内の半導体設備投資は先行き不透明な状況が続くが、一部メーカーが積極的な投資を推進。

# 12-7.業績予想（ビジネスソリューション）

【年間】

【下期】

単位：億円



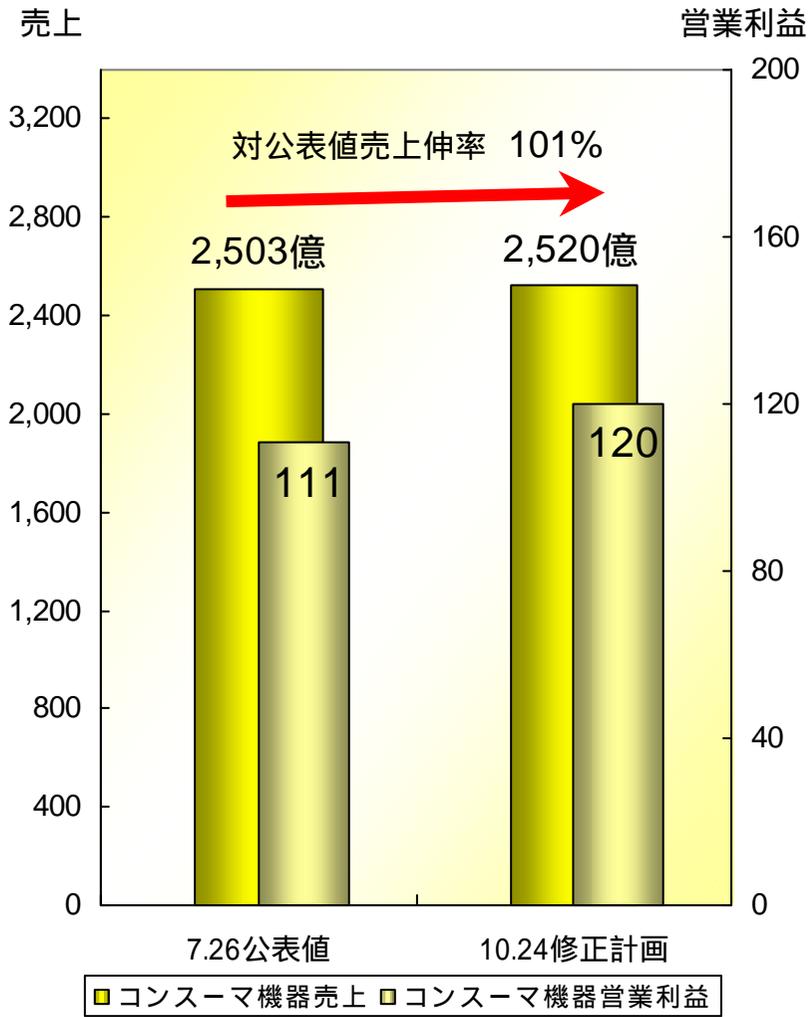
□ ビジネス機器売上 □ サービスアンドサポート売上 □ 営業利益

□ ビジネス機器売上 □ サービスアンドサポート売上 □ 営業利益



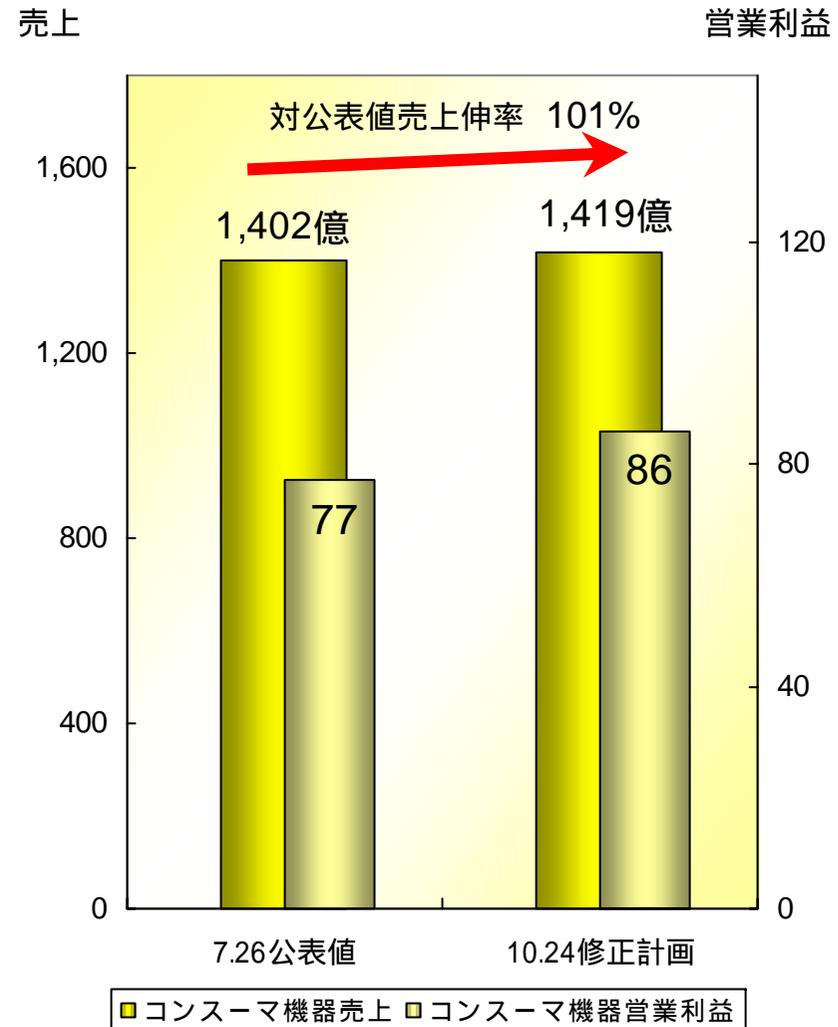
# 12-8. 業績予想（コンシューマ機器）

【年間】



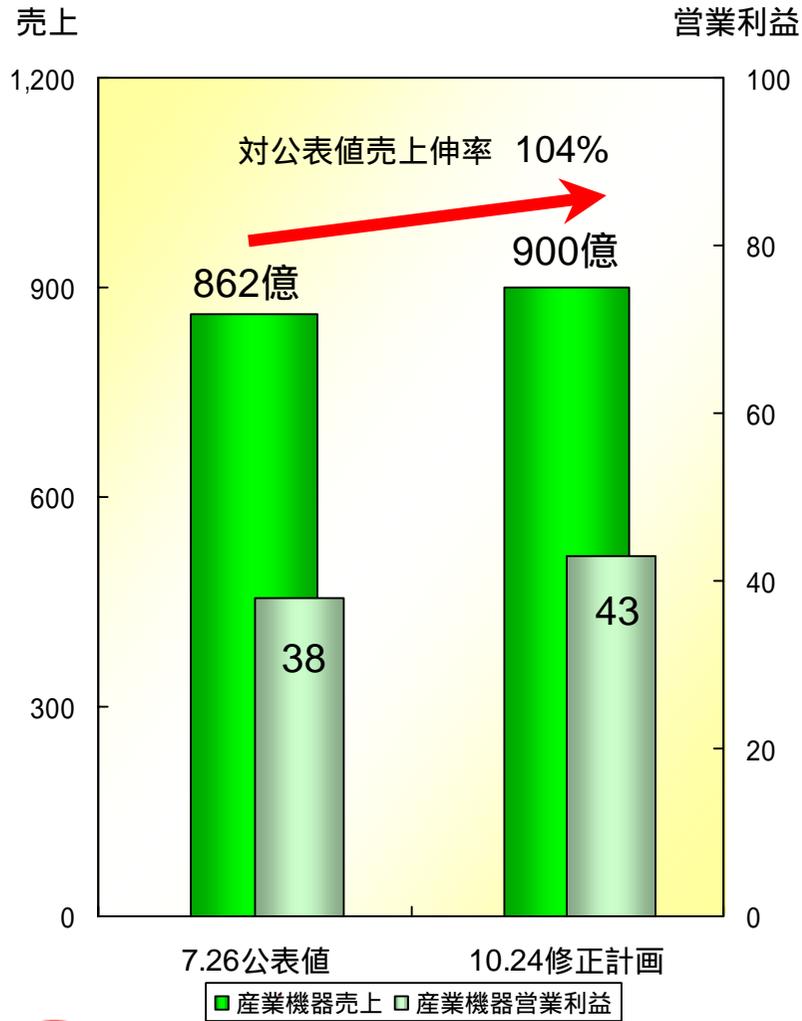
【下期】

単位：億円



# 12-9.業績予想（産業機器）

【年間】



【下期】

単位：億円  
営業利益

